

**「福岡水素タウン」が「新エネ100選」に選定される
～家庭用燃料電池「エネファーム」150台を集中設置した世界最大のモデル都市～**

記者各位

当社(社長:西尾 進路)が、福岡県、前原市および西部ガスエネルギー株式会社(社長:遠藤 恭介)などと共同で家庭用燃料電池「エネファーム」を集中設置した「福岡水素タウン」が、経済産業省および独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)の「新エネ100選」に選定されましたので、お知らせいたします。

「新エネ100選」事業は、全国の地域性を考慮した地産地消型の新エネルギー等利用などの取り組みの中から優れたものを選定し、これを広く情報発信することで、地域における新エネルギー導入のベストプラクティスの共有を図り、我が国の新エネルギー導入を促進することを目的とするものです。

「福岡水素タウン」は、「福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)」(*1)の社会実証事業の第一弾として展開しているもので、世界で初めて「エネファーム」を150台もの規模で集中設置した世界最大の水素エネルギーモデル都市であり、その最先端の取り組みが高く評価されたものです。なお、燃料電池(水素エネルギー)分野では唯一の選定であります。「新エネ100選」の認定授与式は、6月1日に東京で開催される予定です。

地球環境に優しいエネルギーシステム「エネファーム」は、いよいよ今年度から世界に先駆けて国内市場向けに本格販売が開始されます。当社は、「エネファーム」の普及促進に取り組むことにより、グループ理念である「エネルギーの未来を創造し、人と自然が調和した豊かな社会の実現」に貢献してまいります。

記

【「福岡水素タウン」(新エネ100選・選定事業)】

LPガスを燃料とする当社の家庭用燃料電池「エネファーム」150台を簡易ガス団地(*2)に集中設置する、世界最大の水素エネルギーモデル都市。

- * 事業実施者 : 福岡県、福岡水素エネルギー戦略会議(*3)、前原市、西部ガスエネルギー株式会社、新日本石油株式会社
- * 事業実施場所: 福岡県前原市 南風台(みなかぜだい)団地、美咲が丘団地

※福岡水素エネルギー戦略会議の「平成20年度実証活動支援事業」、新エネルギー財団(NEF)の「平成20年度定置用燃料電池大規模実証事業」の助成を受けて実施。

*1 福岡水素戦略(Hy-Lifeプロジェクト)

平成20(2008)年度から展開されている「研究開発」「社会実証」「水素人材育成」「世界最先端の水素情報拠点の構築」「水素エネルギー新産業の育成・集積」を柱とした福岡県・福岡水素エネルギー戦略会議(*3)のプロジェクト。

*2 簡易ガス団地

70世帯以上の集合住宅地等にLPガス大型ボンベなどを設置し、導管により各世帯にLPガスを供給するもの。簡易ガス事業は、ガス事業法の認可が必要で供給義務が課されている公益事業。

*3 福岡水素エネルギー戦略会議

水素の製造、輸送・貯蔵から利用までの一貫した研究開発や社会実証、全国唯一の人材育成などに取り組む全国最大の産学官連携組織。2004年8月発足、会員数522企業・機関(2009年4月1日現在)

以上